

## 前回会議の振り返りと論点

・これまでの検討会議としてイメージしてきた新施設機能イメージ（別紙）が備わった施設について、利用を高め、複合施設機能の効果が最大限発揮される運営方法として、どのような方法が考えられるのか。

- ・複合施設の機能を発揮させることのできる運営者って、そもそも1つの団体（企業）が担うには難しいのでは。
- ・市民が求めるソフト事業（企画運営）をうまく展開できる仕組みを新たに作るべきでは。
- ・従来の指定管理方式では自由度がなく、柔軟な運営を期待するのであれば民間運営に委ねるべきでは。
- ・マネジメントできる専門性のある人材の招聘や育成が必要では。
- ・民間に委ねる場合でも、行政が全て丸投げするのは望ましくないのでは。施設のミッション、到達目標は何で、市民がどんなことができ、どう使わせたい施設なのかを明確に共有した上で、運営を考えるべきでは。

## ●「新しい公共施設」の運営を考えよう（その②）

・公共施設の整備、運営には、様々な官民連携の手法がありますが、導入経過は様々です（再度、道内における身近な施設の導入事例、メリットデメリット等の事例紹介します。）

- ①複合施設における運営方法を考える ⇒ そもそもどう使ってほしい施設なのか。この施設で市民がどのようなことが実現できるのか（させたいのか） ⇒ 少し掘り下げてみましょう。
- ②複合施設の機能が発揮される施設運営 ⇒ どう使われることが理想的、効果的で、そのためにはどのような運営が望ましいのでしょうか。

前回（第5回）の協議内容を踏まえ、皆さんで考えてみましょう。